

京の冬の旅 協賛

第40回記念

# 京都名流いけばな展

The 40th KYOTO Ikebana Flower Arrangement Exhibition

華道

IKEBANA

插花

꽃꽂이

撮影：水野 克比古

と  
き

平成31年 1月22日㈭～3月3日㈰

January 22nd, 2019~March 3rd, 2019

と  
ころ

JR京都駅 新幹線コンコース (改札内)

JR Kyoto station Shinkansen concourse [a platform ticket(¥120)necessary]

主催／JRグループ・公益社団法人京都市観光協会・京都名流いけばな展運営委員会  
後援／公益財団法人京都市芸術文化協会

# 第40回記念 京都名流いけばな展開催にあたって

底冷えの京都で、新春の息吹を感じていただく「京都名流いけばな展」は、今回で40回を迎えました。これまで、京の玄関口にて、いけばな発祥の地、京都の名流各派の花の匠が心をこめて活け込んだ作品により、冬の京都にお越しいただいた皆様をお出迎えしてまいりました。今回も16流派それぞれが6週間にわたって花を活け、各流派ならではの花と器の組み合わせや花型を演出します。京都を訪れる方、旅立つ方の心の潤いや癒しとなれば幸いです。

平成31年1月吉日  
京都名流いけばな展運営委員会

出展期間	1月22日(火)～27日(日)	前期 1月22日(火)～24日(木)	後期 1月25日(金)～27日(日)
	<h3>未生流</h3> <p>MISHO-RYU</p>  <p>京都市右京区 西京極中町1番地 Tel.075-311-1476 北尾 登志甫</p> <p>前期 末澤 泰甫 村上 順甫</p> <p>後期 石田 恭甫 山田 育甫</p>	<h3>未生流中山文甫会</h3> <p>MISHORYU NAKAYAMA BUNPOKA</p>  <p>向日市 鶴冠井町堀ノ内11 Tel.075-921-8756 五十嵐 尚甫</p> <p>前期 増田 弘甫 金田 由紀甫</p> <p>後期 中井 元甫 銅原 啓甫</p>	<h3>いけばな京花傳</h3> <p>KEBANA KYOKADEN</p>  <p>京都市右京区 太秦東蜂岡町9-8 Tel.075-354-6380 手嶋 敏和</p> <p>前期 久田 由香 手嶋 由美子</p> <p>後期 田中 嘉一 久田 武司</p>
<h3>東山未生流</h3> <p>TOZANMISHORYU</p>  <p>京都市上京区 六軒町通今出川下ル 南上善寺町178 Tel.075-462-7493 今枝 靖甫</p> <p>前期 森田 好甫 本郷 瞳甫</p> <p>後期 北口 美智甫 佐倉 敏甫</p>	<h3>華道本能寺</h3> <p>KADOU HONNOUJI</p>  <p>京都市伏見区 醍醐大高町5-9 Tel.075-571-2838 中野 恒心</p> <p>前期 小山 さと甫 田中 任甫</p> <p>後期 美濃 壽甫 井上 彩甫</p>	<h3>清水流</h3> <p>KIYOMIZURYU</p>  <p>京都市北区 等持院北町25-2 Tel.075-461-7795 清水谷 喜月</p> <p>前期 竹内 真由美 西谷 桂月</p> <p>後期 清水谷 善海 玉井 典子</p>	
<h3>小原流</h3> <p>OHARA SCHOOL OF IKEBANA</p>  <p>京都市伏見区 深草戻之内町5の1 Tel.075-642-6104 尾崎 豊雅</p> <p>前期 吉田 豊照 小島 光紀</p> <p>後期 溝口 雲真 小野 豊玉</p>	<h3>いけばな京楓流</h3> <p>KEBANA-KYOFURYU</p>  <p>京都市中京区 釜座通竹屋町上ル Tel.075-231-6623 小鳴 京楓</p> <p>前期 池田 豊楓 大西 和楓</p> <p>後期 泥方 幸楓 小鳴 惟愛楓</p>	<h3>京都未生流</h3> <p>KYOTO MISHO-RYU</p>  <p>京都市中京区 室町通夷川上ル Tel.075-256-1456 松本 司</p> <p>前期 中竹 草真 高田 朋楓</p> <p>後期 杉橋 加寿楓 伊藤 真楓</p>	

# Celebrating the 40th Anniversary of Kyoto Ikebana Flower Arrangement Exhibition



撮影 小倉月昇

"Kyoto Ikebana Flower Arrangement Exhibition", which brings the sign of early spring in penetrating winter of Kyoto, commemorates the 40th anniversary this year. Ikebana works carefully arranged by notable masters of various ikebana schools have welcomed visitors at the gateway to Kyoto, the birthplace of ikebana. 16 distinguished ikebana schools will display their exquisite works in turn for 6 weeks to present the magnificent combination of flowers, flower vases and arranging styles unique to each ikebana schools. We hope our ikebana works enrich your mind, whether you are visiting Kyoto or starting on a journey from Kyoto.

出展期間 2月12日(火)～2月17日(日) 前期 2月12日(火)～14日(木) 後期 2月15日(金)～17日(日)

## 専慶流 SENKEIYU

京都市伏見区  
御香宮門前町197  
Tel.075-611-0814  
西阪 保則

前期 宮本 春夜  
松田 春敬  
  
後期 北村 晴美  
森 恵美



## 嵯峨御流 SAGAGORYU

大阪府枚方市  
楠葉花園町5-2-703  
Tel.072-851-2527  
垣花 悅甫

前期 谷 洋甫  
大槻 敦甫  
  
後期 山田 幸甫  
清瀬 靜香甫

<https://www.sagagoryu.gr.jp/>



## 桑原専慶流 KUWAHARASENKEI SCHOOL

京都市中京区  
六角通烏丸西入  
骨屋町152-1  
Tel.075-221-2950  
桑原 仙溪

前期 井上 慶則  
松本 慶季  
  
後期 大野 慶友  
杉浦 慶弥



出展期間 2月19日(火)～2月24日(日) 前期 2月19日(火)～21日(木)  
後期 2月22日(金)～24日(日)

## 小松流 KOMATSURYU

京都市北区  
平野八丁柳町5  
Tel.075-464-3877  
中村 展山

前期 清水 翠美  
村瀬 明里  
  
後期 永原 碧溪  
佐藤 優大



## 草月流 SOGETSURYU

京都市下京区  
西七条西石ヶ坪町49  
Tel.075-313-7880  
花崎 陽文

前期 竹本 恭萩  
伴 友桂  
  
後期 松原 博萩  
松山 萩喜



## 京都名流 いけばな展

京都名流いけばな展は、昭和55年、国鉄の観光キャンペーンである「デスティネーションキャンペーン」と、京都市・京都市観光協会が開催する「京の冬の旅」が初めて連携することを記念する新たな取組みとして、主旨に賛同した流派「いけはな京都」が全面的に協力して始まりました。

それから39年、冬の京都駅の新幹線コンコースは「いけばな」で華やかに彩られ、全国から観光目的で京都にお越しになる皆様を京都らしい雰囲気でお出迎えするとともに、日本を代表する文化の一つである「いけばな」の発信にも大いに貢献してまいりました。

出展期間 2月26日(火)～3月3日(日) 前期 2月26日(火)～28日(木)  
後期 3月1日(金)～3日(日)

## 香風流 KOFURYU

京都市中京区  
西ノ京北円町82  
Tel.075-461-6822  
村田 香風

前期 富澤 幸園  
村田 弘風  
  
後期 林 美園  
金本 政園



## 池坊 IKENOB

京都市中京区  
壬生坊城町48-3  
壬生坊城第2-4-215  
Tel.075-801-3276  
中路 喜久子

前期 菊地 栄美子  
富尾 菊世  
  
後期 城野 真理子  
江田 光子



# 京都名流いけばな展を振り返って

戦後、画期的な大阪万博の後、1980年（昭和55年）に名流作家いけばな展として始まった京の冬の旅協賛「京都名流いけばな展」は、昭和、平成にわたり、京都の玄関口に春一番を告げる迎え花として毎年開催し、このたび40回展を迎えるました。当時としては、公共の場における斬新的企画展で、新幹線駅舎内は、人も店舗も少ない広大な構造物の殺風景な空間でしたが、多くのビジネスマンや冬の旅に来られた旅行者の方々の目を少しでも和ませ、自然との心の会話や癒しの場として努めて来ました。

毎年実施している会期中のアンケート調査を振り返りますと、「過去に何度か観ました」が約半分で、年代別では40～60代が最も多く厚い支持層と思われます。その意見は、「京都の伝統を守り続けてほしい。いけばなは日本人として少しあたしなみたい。暮らしの中にゆとりの気持ちができる。花は心の栄養になる。妻の楽しい趣味。世界中の人々にいけばなを発信してほしい」など。では貴方もいけばなをしませんか？に対して、「やってみたいが難しそう。いろいろ決まりや型がありそうで難しそう。堅苦しい。敷居が高い。立派に生けられるようになるまで相当時間とお金がかかりそう」。皆さんはどのように答えますか。

さて、長年にわたり開催してきた「京都名流いけばな展」ですが、第1回目から考えますと、喜ばしいことに京都へお越しになるお客様が飛躍的に増え、京都駅の設備が充実いたしましたが、反面、いけばなをじっくりとご覧いただく環境を確保することが難しくなってまいりました。残念ながら、この40回目を節目として幕を閉じることになりましたが、文化庁の京都移転を契機として、日本を代表する生活文化の「いけばな」が、人々の暮らしにさらに寄り添う文化・芸術として、発展していくことを期待してやみません。

平成31年1月吉日 京都名流いけばな展運営委員会

## 写真で振り返る京都名流いけばな展



1986年(昭和61年)



1989年(平成元年)



2000年(平成12年)



2005年(平成17年)



2008年(平成20年)



2014年(平成26年)

# いけはな圏京都構成流派（平成31年1月現在）の紹介

京都名流いけはな展は昭和55年に主旨に賛同する11流派（いけはな圏京都）の参加により始まり、平成31年（第40回記念京都名流いけはな展）は以下の16流派により開催します。

## 池坊（いけのぼう）

560年の伝統を誇るいけ花の根源池坊は、45世池坊専永宗匠と池坊専好次期家元によって今に伝えられています。古きを守り時代に即応する「池坊いけはな」は国内はもとより、世界に羽ばたき「心と技」を伝えています。

## いけはな京花傳（きょうかでん）

1997年初代家元手嶋千俊によって創流。僧侶としてまたいけはな作家として六〇余年の経験を生かし、新境地を見出すため独立。花を通じての情操を本質とし、伝統を大切に現代に生きるいけはなを目指している。

## いけはな京楓流（きょうふうりゅう）

花祖は禁裏御所御用の折、楓を挿けて後龜山天皇より京楓と号を賜わり現家元が1975年に流派として確立し、古典から現代花まで今様いけはなのあり方を追求しています。音楽に合わせて挿けるいけはなパフォーマンスは現家元が元祖であります。

URL <http://www.kyoufuu.com/>

## 小原流（おはらりゅう）

西洋文明の入って来た明治、彫刻家でもあった初代小原雲心が水盤に花を飾る“盛花”を創案。現五世宏貴家元は、瓶花・文人調・琳派調・花舞・花意匠等を追求。現代空間にふさわしいいけはな花奏（はなかなで）を創案。

## 華道本能寺（かどうほんのうじ）

立華創成期の立華の名手であった大住院以信を流祖と仰ぐ。古典を尊重しつつ、コンテンポラリーな作風を求める。いけはなの中に自分の個性を見つけ出し、生けられた花は自分を映し出す鏡となる。

## 京都未生流（きょうとみしょうりゅう）

創流130余年、第四世家元は、若い感性で、花と人の出会いを大切に、受け継がれてきた伝承を現代に生かしつつ「楽しむ花」を信条としています。一人でも多くの人とその楽しさを分かち合いたいと思っています。 URL <http://www.ikebana-kyotomisho.jp/>

## 清水流（きよみずりゅう）

1951（昭和26）年、初代家元清水谷照月が創流。西国第二五番靈場兵庫県清水寺の本尊觀世音菩薩への信仰を花の形にあらわすため、家庭で誰もが楽しめる、和やかな花をいけることをめざす。現家元は二代清水谷善海。

## 桑原專慶流（くわはらせんけいりゅう）

野に咲く花のあるがままの美しさを器にうつしたりたいという気持ちから桑原專慶流のいけはなが生まれました。三百数十年の歴史の中で、理知的な気風に品格がそなり、花の姿を優雅に表現します。

URL <http://www.kuwaharasenkei.com>

## 香風流（こうふうりゅう）

1931（昭和6）年創流。自然体を中心に簡素の美を基調とした、自由で創造性豊かないけばなをめざす。限られた空間に、景色をいけはなで表現する盆景花が流儀花。ほかに盛花・投入花・生花・飾花の花型がある。

## 小松流（こまつりゅう）

昭和初期に流祖竹風斎展山が、京都市にある衣笠山を愛した事から、麓にある小松原に庵を起こし、その地名をとって小松流として創流。自然花材を素材として、伸び伸び咲く花の姿を優雅に、四季折々に色彩豊かに表現する。

URL [http://www.geocities.jp/komaturyu\\_ok/](http://www.geocities.jp/komaturyu_ok/)

## 嵯峨御流（さがごりゅう）

平安時代、嵯峨天皇が大覺寺大沢池の菊ガ島で手折られた菊を挿花され、「後世花を生くるものは宣しく之を以て範とすべし」と仰せになられたことが源となり、創流1200年を迎え、嵯峨天皇の自然といのちを愛する大御心を伝えている大覺寺に華道總司所をおく流派です。

URL <https://www.sagagoryu.gr.jp/>

## 専慶流（せんけいりゅう）

江戸元禄期、京都で流祖富春軒仙溪によって専慶流は創始される。伝承された清楚で端正なたに、絶えず豊かな創造と感性を求め、新しい和と美の心を通せたいと専慶流は考えています。

## 草月流（そうげつりゅう）

草月流は、「いつでも どこでも 何でも活ける」事を理念にしています。その理念の元に、様々な場面での作品を植物素材を使って展開致します。

## 東山未生流（とうざんみしょうりゅう）

西陣の地にある慧光山總本山本隆寺30世日東上人を流祖と仰ぎその中から取った「東」と「山」から東山未生流と称し江戸時代後期創流。未生流の流れをくみ華道を通じた人格形成と精神鍛錬を掲げ正花盛投入意匠花等古典を軸に現代いけはなをも探求している。

## 未生流（みしょうりゅう）

未生流は未生齋一甫によって、1800年のはじめに創流されました。いけはなの本質は社会や生活環境が変化しても変わらないものです。流名「未生」が示すように無限の可能性を秘めて日々清新なものを生むよう努力しています。流祖はいけはなを通して人としての有るべき姿を諭されています。

## 未生流中山文甫会（みしょうりゅうなかやまぶんぱかい）

未生流200年の歴史がある「格花」や、現代生活に合った多様な花型の「新花」があります。好きな花や、葉・枝・器をどう選ぶかで、個性が表現されます。常に「新しいことに挑戦する精神」を持った流派です。 URL <http://www.bunpo.or.jp/>

# 第53回 京の冬の旅 非公開文化財特別公開 ~秘められた京の美をたずねて~

平安遷都以来およそ1100年の間、日本の都であり、文化・芸術の中心地であった京都には、数多くの名画が残っています。また、政治の中心が東京に遷った明治以降も、日本初の公立の絵画専門学校「京都府画学校」(現在の京都市立芸術大学)が開設されるなど、今日に至るまで、京都は日本の絵画の中心として美術界を牽引し、「京都画壇」は日本画革新運動的一大勢力となっていました。

2019年9月に日本で初開催となるICOM KYOTO 2019(国際博物館会議京都大会)が開催されることに先駆け、「京都にみる日本の絵画～近世から現代～」をテーマに寺院において、通常非公開の文化財を特別公開します。

開館期間	建仁寺 正伝永源院	建仁寺 兩足院	建仁寺 畫源院
2019年1月10日(木)～3月18日(月)	※一部公開期間が異なりますので各箇所をご覧ください。 ※都合により拝観できない日々時間帯が生じる場合があります。 詳しくは京都市観光協会へお問い合わせください。	京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 5年ぶりの公開
開館時間	10:00～16:30(16:00受付終了) *智積院9:00～16:30(16:00受付終了) *東寺 五重塔8:30～17:00(16:30受付終了) *善光寺 毎週日曜10:00～13:00は拝観休止	狩野山楽筆金碧障壁 画「蓮鷲図」や、「織田有樂斎画像」「鐘馗図」、細川護熙氏筆の障壁画など特別展示。 ※期間中展示替えあり ※1月10日(木)～27日(日)、3月1日(金)～18日(月)の公開	長谷川等伯筆「竹林七賢圖屏風」、伊藤若冲筆「雪梅雄鷹圖」、道次 画家・七類堂天麿氏障壁画公開。 ※期間中展示替えあり
料 金	1ヵ所 600円 ※智積院、東寺 五重塔は800円(通常公開部分を含む)	京の冬の旅 5年ぶりの公開	「中巖円月坐像」(重文)、「星沙門天立像」、今川義元生誕300年を記念し、今川義元筆書状や狩野山楽筆「布袋像」初公開。
ち し く い ん 智積院	長谷川等伯・久蔵筆国宝障壁画と、特別公開の室本印象筆宸殿障壁画 画「婦女喫茶図」「松桜柳の図」。	とう ふ く じ こ う み よ う ほ う で ん 東福寺 光明宝殿	だい と く じ ほ う ぼ う 大徳寺 本坊
京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 30年ぶりの公開	京の冬の旅 30年ぶりの公開	京の冬の旅 6年ぶりの公開
※特別公開は2月20日(木)まで ※期間中庭園の整備(治水調査)を行っております。	●アクセス 市バス206・208・100系統「東山七条」下車、徒歩約5分/JR奈良線「東福寺」駅から京阪電車「祇園四条」駅下車、徒歩約10分	東福寺寺寶藏の障壁画 や、伝達慶作の金剛力士像(重文)など貴重な仏像一挙公開。 ※3月1日(金)～18日(月)までの公開	方丈(国宝)の狩野探幽筆障壁画(重文)、方丈庭園(特別名勝・史跡)、聚楽第の遺構と伝わる唐門(国宝)。
ほん ほ う じ 本法寺	長谷川等伯筆「日冕上人像」(重文)、「波龍図屏風」、狩野山楽筆「唐獅子図屏風」、本阿弥光悦作庭の「巴の庭」(名勝)。	せん そ う じ 善想寺	だい と く じ ほ う ぼ う 大徳寺 本坊
京の冬の旅 初公開	京の冬の旅 初公開	京の冬の旅 初公開	相国寺 慈照院
※期間中展示替えあり	●アクセス 市バス206・208・100系統「東山七条」下車、徒歩約3分/JR奈良線「東福寺」駅から京阪電車「七条」駅下車、徒歩約10分	京の冬の旅 初公開	「陸船松」の枯山水庭園、書院「棲碧軒」、世界記憶遺産に登録されたことを記念して、朝鮮通信使ゆかりの寺宝特別展示。
ま ん じ ゃ ん じ 妙心寺 天球院	狩野山楽・山雪の代表作の障壁画「竹虎図」、「梅に遊鹿図」、「離草花図」(重文)一部をぞき高精細複製品。	ま ん じ ゃ ん じ り ん し ょ う い ん 妙心寺 麟祥院	京の冬の旅 初公開
京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 初公開
●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約10分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩すぐ	●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約7分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩約3分	四条後院の跡地に残る「泥足地蔵」と800年前の上皇の「石仏阿弥陀如来」。	仁和寺 金堂・経蔵
か ん じ ゃ ん じ 妙心寺 天球院	か ん じ ゃ ん じ り ん し ょ う い ん 妙心寺 麟祥院	京の冬の旅 初公開	仁和寺 金堂・経蔵
京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 初公開	京の冬の旅 初公開
か ん じ ゃ ん じ 妙心寺 天球院	か ん じ ゃ ん じ り ん し ょ う い ん 妙心寺 龍泉菴	京の冬の旅 5年ぶりの公開	東寺 五重塔
京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 初公開
●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約10分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩すぐ	●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約7分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩約3分	日本画家・山里本出生氏筆障壁画や、狩野探幽、谷文晁の作品など寺宝特別展示。 ※2月28日(木)、3月1日(金)は拝観休止	世界文化遺産で真言宗總本山日本一高い五重塔(国宝)の初層内部、金堂(国宝)、講堂(重文)もあわせて拝観。
か ん じ ゃ ん じ 妙心寺 天球院	か ん じ ゃ ん じ り ん し ょ う い ん 妙心寺 龍泉菴	京の冬の旅 初公開	東寺 五重塔
京の冬の旅 8年ぶりの公開	京の冬の旅 5年ぶりの公開	京の冬の旅 初公開	京の冬の旅 初公開
●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約10分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩すぐ	●アクセス JR嵯峨野線「花園」駅下車、徒歩約7分/市バス26系統「妙心寺北門前」下車、徒歩約3分	●アクセス JR嵯峨野線「円町」駅から市バス26系統またはJRバス「御室仁和寺」下車、徒歩約2分	●アクセス JR嵯峨野線「円町」駅から市バス26系統またはJRバス「御室仁和寺」下車、徒歩約5分

## 京都定期観光バス特別コース

L1 コース	～京都にみる日本の絵画～ 長谷川等伯と狩野山楽の世界	京の冬の旅 初公開	L2 コース	～京都にみる日本の絵画～ 京の障壁画と庭園の美をたずねて
期 間	2019年1月10日(木)～3月18日(月)の毎日	※3月1日(金)は運休	期 間	2019年1月10日(木)～3月18日(月)の毎日
出発時刻	JR京都駅烏丸口 10:00発 (所要約6時間～6時間30分)	出発時刻/JR京都駅烏丸口 10:10発(所要約6時間)	料 金	大人 9,200円 小兒 6,030円
料 金	大人 9,200円 小兒 6,030円	料 金	大人 9,200円 小兒 6,120円	
案 内 箇 所	◆智積院【特別公開】※3/1～18は建仁寺 正伝永源院へ変更。 ◆妙心寺 天球院【特別公開】◆建仁寺 畫源院【特別公開】◆阿じろ【昼食】	案 内 箇 所	◆大徳寺 本坊【特別公開】※1/16～18、2/1、3/15は東寺 小子房へ変更。 ◆妙心寺 麟祥院【特別公開】◆建仁寺 兩足院【特別公開】 ◆妙心寺 龍泉菴【特別公開】※2/28は東寺 小子房へ変更。◆泉仙【昼食】	
L4 コース	「京の冬の旅」初公開を巡る! 京の国宝とご利益めぐり	京の冬の旅 初公開	L3 コース	京の冬の味めぐり
期 間	2019年1月10日(木)～3月18日(月)の毎日	※毎週水曜日は運休	期 間	2019年1月10日(木)～3月18日(月)の毎日
出発時刻	JR京都駅烏丸口 10:30発 (所要約6時間～6時間30分)	出発時刻/JR京都駅烏丸口 10:20発(所要約5時間30分～6時間)	料 金	大人 9,200円 小兒 7,000円
料 金	大人 9,200円 小兒 6,030円	料 金	大人 9,200円 小兒 7,000円	
案 内 箇 所	◆仁和寺 金堂・経蔵【特別公開】◆東寺 五重塔【特別公開】◆善光寺【特別公開】 ◆転法輪寺【特別公開】※1/20は上賀茂神社 本殿・権現へ変更。◆下鴨福助【昼食】	案 内 箇 所	◆京料理 山ばな平八茶屋【名物「めしろろ汁と京料理】 ◆京菓子 菊屋長良【京菓子製作表演見学と京菓子賞味】 ◆京漬物 土井弁吉は漬本舗【干枝漬の漬け込み実演見学と京漬物賞味】 ◆世界遺産 下鴨神社と「京のあじわい」【下鴨神社の参拜と祇園祭の風景「大祓笑」をあじわう】	

京の冬の旅についてのお問い合わせは 京都市観光協会 TEL.075-213-1717 (10:00～18:00)

京都市観光協会 検索